

見たい!行きたい!体験したい!

# ゆるっと休日計画

## 秋色山野草で癒しのコケ玉をつくろう

丸く愛らしい姿と、誰でも手軽に挑戦できることからすっかり人気定着したコケ玉。実をつけたり、紅葉する植物を使えば、ぐんと秋らしい風情を醸します。宮崎市・野元珍松園の野元大作さんに、秋のコケ玉づくりを教えてもらいました。

教えてくれた人



野元珍松園  
野元大作さん

無心になって緑と向き合えば、心身リフレッシュにつながりますよ。



### 作り方



その1

それぞれの植物を鉢から取り出し、根をほぐします。ムラサキシキブなど実ものは根を切ると実が落ちやすくなるので、土のみを落とす程度に。



その2

植物をバランスよく配置し、水で練ったケト土で根本をまとめ、コケで包み込んでいきます。丸くなるように糸で全体をぐるぐると巻いていきます。



その3

飛び出たコケはカットし、また根本の隙間はコケの切れ端で埋めます。植物の葉が混み合っているところなどは軽く剪定し全体の形を整えて完成。

### 材料

#### ベニチガヤ

葉先が鮮やかな赤紫に染まる

#### ムラサキシキブ

秋に紫色の美しい実をつける

#### ドクダミ

今回はピンクの斑入り種を使用



- ケト土
- 水
- 黒い糸

#### ハイゴケ

### ポイント

- ケト土は水を加え、耳たぶ程度の固さに練っておく。
- 植物は、奥に背の高いもの、手前に低いものを配置するとバランスよくなる。
- 作った当初はコケ部分の色が悪くても、しばらくするとフサフサときれいな緑に変わる。
- 完成したらコケ玉の部分をつたりの水につけ、浅めの皿に水を張って飾る。



### ひと手間ワンランクアップ!

ムラサキシキブなど木の植物には、枝に針金をかけて整形すると流れるような樹枝になって風情が増します。